

森のなかま 2012

申請部門	申請区分	申請額
高度化支援	森林の保全・再生	9.8万円
	資機材の購入	4.9万円

団体概要

設立年月	平成24年 4月 1日
会員数	21人
団体予算	平成29年度予算 約21.3万円 (会費収入: 約5.3万円 補助金等: 16万円)
活動内容	秦野戸川公園に自生する樹木を調査し、整備、伐採を通して、適正な自然環境を取り戻す(間伐枝打ち、倒木、枯木処理、土留め作業、下草刈り、ツル切り等)。

申請概要【森林の保全・再生事業】

整備箇所	秦野戸川公園
整備面積	0.24ha
整備内容	活動回数 12回 事業予算 15.9万円 秦野戸川公園内の人工林の間伐、枝打ち、枯木処理、下草刈りの実施。 (継続事業)

事前調査結果

申請要件への適合	○適
特記事項	○26年度からの継続団体。 ○28年度申請より定着支援部門から高度化支援部門へ移行済。 ○適切に事業が実施されていることを確認済み(中間報告書)。 ○神奈川県森林インストラクター12期生で構成された団体。 ○チェーンソー・刈払機の燃料代等について聞き取ったところ、募集案内の積算方法による合計額7,386円に対して申請額6,939円であった。団体へ聞き取りを行ったところ、間伐、枝打ちを行った後、4m程度に玉切りを行うため、チェーンソーの稼働時間が長くなるとのことである。また、28年度の事業実施場所が急傾斜地であるため刈払機の燃料代等が嵩むことが見込まれるとのこと。

継続事業実施状況(24年度以降)

【森林】	26年度実績	27年度実績	28年度申請
会員数	21人	21人	21人
活動回数	16回	13回	12回
参加者数	延べ112人	延べ76人	延べ120人
整備面積	1.08ha	1.08ha	0.07ha
補助申請額 (補助実績額)	38.8万円	26万円	16万円
うち資機材	8.8万円 チルホール1	—	—

事業計画書 【森林の保全・再生事業】

団体名	森のなかま2012
申請部門	<input type="checkbox"/> 市民事業定着支援部門 <input checked="" type="checkbox"/> 市民事業高度化支援部門
事業名	秦野戸川公園森林整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昨年度に当該補助金を受けた事業である場合は黒く塗りつぶしてください)
実施期間	29年4月1日～ 30年3月31日 (計 12回活動)
実施場所※	秦野戸川公園(秦野市堀山下1513)
整備面積(予定)	森の自然観察ゾーンC区域2400㎡ (詳細は、別添の図面を参照)
樹種	<input checked="" type="checkbox"/> 針葉樹 <input checked="" type="checkbox"/> 広葉樹 <input checked="" type="checkbox"/> 竹 <input checked="" type="checkbox"/> その他(雑木)
参加者数(見込)	会員(10)人 会員外()人 計(120)人
資機材購入希望	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有(第9号様式に記載のとおり)

※ 実施場所は、位置図・写真を添付すること。

(1) 事業目的

事業を実施する必要性や意義、同補助金活用事業であることのPR方法などを具体的に記入してください。

秦野戸川公園の森林は水源の森林づくりエリアにあるが、公園内の杉、桧の人工林は整備作業が実施されておらず、荒廃が進んでいる状態です。我々の活動を通じて市民の環境保全の理解を深め地域の活性化に繋がること、更に森林整備により水源かん養機能が向上することを目的に間伐、枝打ち等の森林整備を実施する。なお、公園管理者も自己努力だけでは整備できないことから、上記目的をご理解いただき、我々が活動することについて(公財)神奈川県公園協会様へ公園ボランティア登録証を提出し承認をいただいております。また、同補助金を活用して活動を行っていることをPRするために公園祭り等のイベントへ積極的に参加し神奈川県民にアピールするよう工夫しています。

(2) 事業内容

申請事業の具体的内容、実施時期、やり方について、数値を入れるなどして具体的に記入してください。

平成29年度は秦野戸川公園内「森の自然観察ゾーンC地区」2400㎡の人工林、混交林の間伐、枝打ち、下草刈り、倒木、枯木処理、外周草刈、竹藪の整理を実施する。活動回数は12回、参加人数を120人を目標に計画を実行する予定です。

名称	実施時期・回数	人数	具体的内容・やり方	特記事項
間伐・枝打	4, 5, 6, 8, 9, 11, 12, 1, 2, 3	100人	C地区2400㎡の間伐・	第4土曜日
下草刈り	各月1回,		枝打・倒木枯木・竹藪生理	12月のみ第3土
倒木枯木処			外周草刈、下草刈り	曜日
理、竹藪の	7月(1回)	10人	外周草刈、下草刈り	第4土曜日
整理、外周	10月(1回)	10人		第4土曜日
草刈				

(3) 水源環境の保全・再生への効果 (アウトカム)

事業を実施することで、水源環境の保全・再生にもたらす効果があるか、現状と目指す姿に触れつつ具体的に記入してください。

水源環境の保全・再生には単に森林整備作業による水源かん養機能の向上だけでなく、森林が育む水の大切さを県民一人一人が理解し、多くの県民が水源環境の保全・再生に関わることで将来にわたる良質な水の確保につながるものと考えます。

わが団体が、森の自然観察ゾーンB地区を整備することにより水源かん養の向上が図るとともに、「森の観察ゾーン」の景観が著しく変化し、周囲を散策する地域住民及び来訪者と共に環境に対する意識が変わり、地域の活性化に貢献できるほか、秦野戸川公園祭り等各種イベントを通して地域魅力を発信することができる。

(4) これまでの活動実績

直近3年程度の活動内容・回数・参加者等について記入してください。

当事業は平成26年度に始まり、これまで3回実施され、延べ230人が森林整備活動に参加し公園内の杉・桧の人工林が一段と景観がよくなり来園者、地域住民に好評を得ております。

名称	実施時期・回数	人数	具体的内容・やり方	特記事項
間伐・枝打	H26 4月～3月・16回	105人	戸川公園B区域 (1.08ha)	毎月第4土曜日
下草刈り・倒	H27 4月～3月・13回	76人	戸川公園B区域 (1.08ha)	毎月第4土曜日
木枯木処理	H28 4月～12月・10回	49人	森の観察ゾーン整備作業 (700m)	毎月第4土曜日

(5) 今後の展開

申請対象年度以降の活動について、部門ごとに下記の視点から記入してください。

- ①市民事業定着支援部門 (将来にわたり継続して実施するための工夫。申請事業の今後の広がりや深まりを高める工夫。)
- ②市民事業高度化支援部門 (これまでの経験を活かしたスキルアップや自立化に向けた自主財源確保の工夫。申請事業の広がり等の工夫に加え、他分野の活動や他の地域等に与える効果。)

【数年後の目標】

秦野戸川公園内の森の自然観察ゾーン5ヶ年計画を (平成28年～平成33年度) たて、(公財) 神奈川県公園協会、隣接地域で活動する団体と連携し公園内の森林整備作業を実施していく。

【目標達成のためのアクション】

森林インストラクターとして「かながわトラストみどり財団」と「森林整備活動をしている団体」との技術交流を行い、修得した技術を共有し森林整備事業を発展させていきたいと考えています。

(6) 安全面・県民へのPR

申請事業に対する安全面への配慮 (講習会の受講、安全装備、保険への加入など) や申請事業の内容や成果を県民に広くPRする方法について記入してください。

【安全面への配慮】

ボランティア活動の手本となるよう、作業はマニュアルを厳守し、安全チェックシート、作業日誌等を記録し安全には十分配慮 (講習会、安全装備、保険の加入) して事業を実施する予定である。

【県民へのPR方法】

戸川公園まつり、戸川公園ライトアップ等に参加し県民の皆様と交流をふかめ、水源環境保全・再生施策の事業であることとも併せてPRを行い、地域の行事に参加し活動の成果をPRしていく。

秦野戸川公園

森の自然観察ゾーンの作業予定区域



事業結果報告書

事業名	秦野戸川公園森林整備事業		
団体名称	森のなかま2012		
実施期間	平成28年 4月 1日から 平成29年 3月 31日まで		
実施場所	秦野戸川公園 (秦野市堀山下1513)		
【事業の目的及び目標】(計画)			
<p>秦野戸川公園内の杉、桧の人工林や竹林、雑木林の適切な管理のもと、豊かな森林を育て、人と自然が共生できる環境を整備することを目的とし、平成28年度は森の自然観察ゾーン(A～F, Z地区)の5ヶ年計画を立てA区域の杉、桧の間伐枝打ち、倒木・枯木処理、土留め作業、下草刈り、ツル切り等を作業計画書にもとづき活動回数12回、参加人数120人を予定し秦野戸川公園森林整備事業を計画しました。</p> <p>今年度は5カ年計画の初年度であり、新しい活動区域の状況を見極め安全第一に作業を進める。また、勉強会、チェンソー研修会、ブラッシュアップ研修会の参加、地域ボランティア団体との交流会の参加を計画しました。</p>			
【事業の成果】(結果)			
<p>5カ年計画の初年度、A区域は4月から実行し雨等で作業が出来なかった日も在りましたが会員の皆様の協力で予定どおり森林整備作業を実施し終了しました。</p> <p>延べ動回数、延べ参加人数は下記のとおりです。杉、桧の間伐、枝打ち、倒木・枯木処理、土留め作業、下草刈り、ツル切り、雑木、篠竹、真竹等を作業計画書にもとづき作業を実施しました。また、予定以外にa区域(計画の地続き)の区域も実施できました。</p> <p>(公財)神奈川県公園協会主催の第11回秦野戸川公園祭りに参加し県民の皆様へ間伐材を使って実際に鋸で丸太を切って体験していただきその際、水源環境保全・再生施策の事業であることのPRを行った。また件主催の市民事業交流会についても参加し他ボランティア団体との交流を深めた。</p> <p>1年間、安全を第一に無事故で秦野戸川公園森林整備事業を終了したことに感謝し、平成29年度は活動区域を「森の自然観察ゾーンB区域」に移し、継続して実施する予定です。</p> <p>また、(公財)神奈川県公園協会より3月3日に「地域に根差した公園の適切な管理運営に大きく貢献された」ということで表彰されました。5年間の活動が高く評価していただき光栄に思いました。</p>			
部門	延べ活動日数	延べ参加人数	備考 (整備面積、搬出量等)
森林	15日	77人(領75人、会外2人)	面積 700㎡
間伐材	日	人(領 人、会外 人)	種類 搬出量 m³
河川・地下水	日	人(領 人、会外 人)	
その他	日	人(領 人、会外 人)	
普及啓発	日	人(領 人、会外 人)	
調査研究	日	人(領 人、会外 人)	
【購入した50万円以上の物品名・取得価格・管理責任者】			

※ 事業実施状況がわかる写真や作成したチラシ、資料等を添付すること。

※ 森林の保全・再生部門は整備面積を、間伐材の利活用促進部門は搬出した材の種類と量を備考欄に記載すること。

※ 調査研究事業は、調査研究結果をまとめた報告書を添付すること。

団体名

森のなかま2012

市民事業等支援制度に係るアンケート調査票 (H27)

A…概ね達成 B…どちらかと言えば達成 C…どちらかと言えば達成できていない D…達成できていない

1 補助を受けて、活動に広がりや深まりが見られたか

評価項目、評価のポイント	評価	具体的な理由や改善点
活動参加者について <input type="radio"/> 参加者数の増加が見られたか <input type="radio"/> 参加者層（年齢層や地域分布など）に広がりが見られたか	B	一般の参加者は森林インストラクターという特殊な会員なので募集していないがインストラクター先輩として13期生の活動場所を紹介し、協力して森林整備活動の裾野を広げた。
事業の実施について <input type="radio"/> 事業実施箇所の広がりが見られたか <input type="radio"/> 活動回数の増加が見られたか <input type="radio"/> 活動内容の高度化が図られたか <input type="radio"/> 事業メニューに広がりや深まりが見られたか	A	補助をうけ各種資機材、物品を購入しそれを使っての間伐、枝打ちの技術修得ができかつ、活動効率がアップした。活動回数は月1回ですが今年度で予定した作業区域が終了予定で、次期作業区域を公園管理者と検討中です。
新たな関係性が構築されているか <input type="radio"/> 補助制度を通じて様々な主体（他団体や基礎自治体など）との関係性が新たに構築されたか	A	森林インストラクターとして各団体に認識されつつあり、ある団体から技術指導、研修の依頼がありました。
団体の自立につながっているか <input type="radio"/> 活動内容の広がりや深まりにより、会員数の増加が見られたか	B	活動内容は充実してきたが、 会員の参加する人数が固定化 してきたので、もっとたくさん参加してもらおう工夫を考えております。

2 市民事業等支援制度は利用しやすい制度となっているか

評価項目	評価	具体的な理由
申請手続きについて	A	様式等は実施の手引があるので問題はなく、不明な点は担当者に指導して頂いている。
審査方法について	A	公開プレゼンテーションの発表時間が短いに参加団体が多数なのでいたしかたない。
補助対象事業について <input type="radio"/> 水源環境の保全・再生に資する事業にもかかわらず、対象外となってしまう事業がないか、等	B	補助対象事業の区域と区域以外の区別がわからない。具体的に二宮
補助対象経費について <input type="radio"/> 活動にあたり必要となる経費が補助対象外となっていないか、等	B	定着部門で資機材購入（高度な技術や資格を持っている）に制限がある理由がわからない。
補助額について	A	特に金額に関しては問題ない。
補助期間について	A	年度単位で区切りが良い。
中間報告について	A	中間報告は年度全般の活動実績と予算執行を把握する良い機会になっている。
実績報告について	A	作業終了後（第4土曜）に開始して4月に全般に終了し4月末に振り込んで頂ければ理想的です。

3 水源環境の保全・再生に係る団体間でのネットワークが構築できているか

評価項目	評価	具体的な理由
市民事業交会について	A	交流会において各団体の活動状況、運営方法、悩み等情報交換が出来有意義です。
公開プレゼンテーション(3月開催の2次選考会)について	A	他の団体の発表を聞き、技術的なこと、安全に関する事柄はネットワーク構築に活用している。
県ホームページのイベント情報・活動支援情報等について	B	あまり利用していないが今後は積極的に活用する。

ネットワークの構築やその他の支援として必要なものを挙げてください。(補助金の交付以外の支援について記載してください。)

森林インストラクターとして(公財)かながわトラストみどり財団との関わりの中でネットワーク活動に利用しております。

4 補助期間終了後の活動の見通しは立っているか

評価項目	評価	具体的な理由と今後の見通し・計画等
活動が継続的に展開されているか		
○中長期的な活動計画があるか(補助終了後の活動計画があるか)	A	中長期的な計画はないが、補助終了も毎年総会は開き活動報告、会計報告、年度計画、予算等決め継続的に活動していく。
○補助終了後も、活動を継続・発展させていく見通しは立っているか	A	補助終了後も、森林インストラクターとして技術修得、向上のため継続的に実施して行く。
継続的に活動するための資金の見通しは立っているか		
○会員等からの会費収入は確保できているか	A	会員収入は確保できている。
○製品の販売等による自主財源の確保はできているか	E	製品の販売等を行っていないが、イベント等では材料費のみで自主財源とはしていない。
○イベント等を通じた寄付金の確保はできているか	E	イベント時の寄付金は頂いていない。
○他の補助金の活用による財源の確保はできているか	C	今後、必要の都度考える必要がある。
○企業のCSR活動等と連携した活動資金の確保はできているか	B	森林インストラクターとしてネットワーク活動を通じて各企業と連携して活動に参加している。

5 自由意見

その他、市民事業等支援制度に関してご意見等ございましたら、自由に記入してください(この欄に書ききれない場合は、別紙にご記入ください。)

森のなかま2012の会が発足して3年が経ち、資金が一番必要な時にタイムリーに補助をして頂き、資機材、物品、を購入できたことは、誠に感謝しております。補助終了後も継続的に活動し森林インストラクターとして技術修得、向上に努めていきます。